

「都道府県宅建政治連盟幹事長会議」にて活動事例を発表しました

令和8年2月19日（木）、第一ホテル東京（東京都千代田区）において全国宅建政治連盟主催による「都道府県宅建政治連盟幹事長会議・幹事意見交換会」が開催され、本会議には、京政連から梶原会長および坂本幹事長が出席しました。また、伊藤業協会会長は全宅連政策推進委員長として、北川京政連前会長は全政連監査役として、それぞれ参加されました。

当日は、赤田全政連幹事長より全政連の活動状況について説明があり、続いて伊藤全宅連政策推進委員長より、税制改正や政策要望の検討・立案などの取り組みについて報告がありました。その後の都道府県宅建政治連盟による活動事例発表では、47都道府県の中から静岡県、京都府、福岡県の3政治連盟が選出され、京都府を代表して坂本幹事長が発表を行いました。

◆ 発表内容

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1. 京政連の事業内容について | 3. 今までの活動成果について |
| 2. 活動内容について | (1)私道の給水管理設時の「承諾書廃止」を実現 |
| (1)「税制改正及び土地住宅政策」を要望 | (2)生活保護法に基づく住宅補助の「代理納付」を実現 |
| (2)各選挙候補者の推薦 | (3)「地籍調査の推進に係る法改正」の提言 |
| (3)「地域議員懇談会」の開催 | (4)「開発協力金の廃止」を実現 |
| (4)ホームページの運営 | 4. 今後の活動について |
| (5)機関紙の発行・掲載 | |



【都道府県宅建政治連盟幹事長会議のようす】



【坂本幹事長による発表のようす】